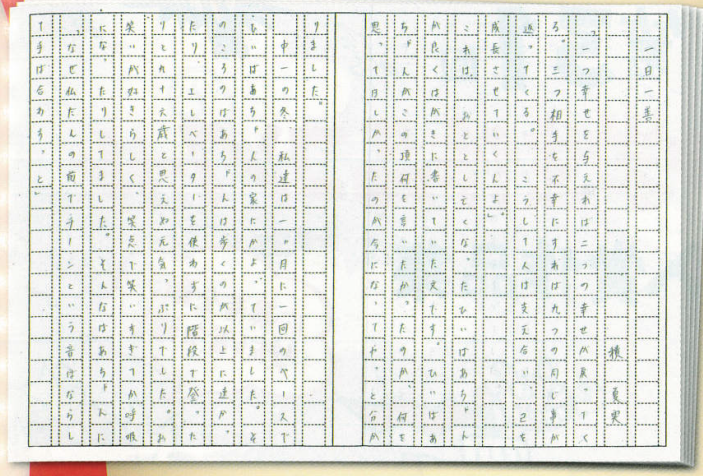
国語部門

〈総評〉本年度は八六五作品の応募がありました。ここに紹介した受賞作品はどれも書き手の意見や想いがしっかりと述べられており、かつ、学年に相応しい内容の作品です。今後もこのような作品が多く出ることを期待します。

文部科学大臣奨励賞

一日一善

熊本県　熊本市立京陵中学校　3年
積　夏実

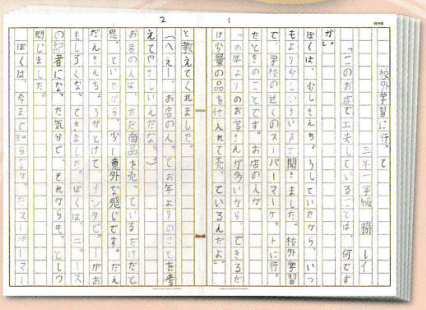


「一日一善」は一見、平凡なことわざですが、夏実さんの確かな表現力によってはにかみやユーモアある曾祖母の素敵な人間像や性格が見事に描き出されています。文章の端々から夏実さんの曾祖母への深い尊敬の念、あたたかな眼差しを読み取ることができ、感動させられます。

子どもの文化・教育研究所理事長賞

校外学習に行って

愛知県　愛知教育大学附属岡崎小学校　3年
脇　レイ

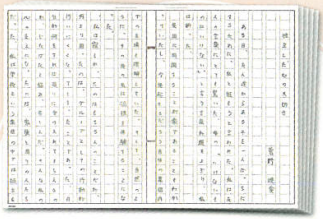


郊外学習を通じて垣間見た「社会」の姿、人を幸せにできる仕事の大切さの発見、そのための多くの人々の努力や工夫、では自分はこれからどうしたいのか等がいきいきと語られています。

中央出版株式会社社長賞

独立した心の大切さ

東京都　荒川区立汐入小学校　6年
菅野　暁愛

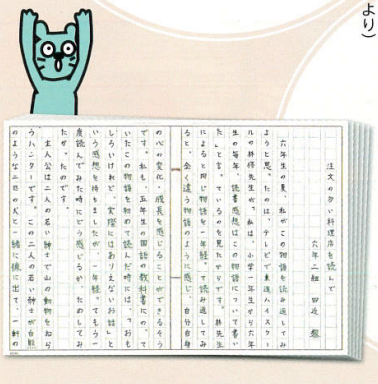


マザー・テレサの言葉を効果的に引用しながら、周りに左右されない「自分を持とう」「自分自身であること」を模索し葛藤する姿や学びの過程がよく書かれています。

一般社団法人日本児童文芸家協会理事長賞

注文の多い料理店を読んで

愛知県　愛知教育大学附属岡崎小学校　6年
田近　黎



解釈の難しい題材に対して、著者の意図を分析し、自身の解釈も交えながら分かりやすく説明している点に、黎さんの読む力がうかがえました。

（『注文の多い料理店』宮沢賢治著、小学校国語教科書より）

優秀賞

でんでん虫のかなしみを読んで

茨城県　行方市立現原小学校　2年
根本　理央

目が見えるのは当たり前じゃない

愛知県　岡崎市立矢作東小学校　3年
野村　奈未

私にできること

沖縄県　石垣市立平真小学校　6年
喜納　萌絵子

わたしの友だち

茨城県　茗溪学園中学校　2年
渡辺　理也

助け合う大切さ

岩手県　奥州市立水沢中学校　3年
石川　理歩